

## 申請書記載留意事項（県庁申請用・一般）

記入例を参照して、申請書の①から⑩まで順に漏れ無く記入願います。裏面（2ページ目）も記載していただくよう願います。

《表面》

① 実際に申請書を記入した月日を記入してください。

② 4つのチェック欄□全てに✓を入れてください。いずれかにチェック漏れがある場合は、支給不可です。

③ 申請者氏名

親権者等申請者のお名前を記入願います。親権者が2名の場合、どちらでも結構です。

なお、親権者等がおられる場合、生徒本人は申請者となれませんので、ご注意ください。

④ 対象となる高校生等について

ふりがなも記入漏れ無いよう願います。

⑤ 学校の名称について、通信制の学校の場合、実際に通われている学校ではなく、本校の名称を記入願います。

⑥ 支給基礎額の該当欄に○を記入願います。なお、県記入欄は記載しないでください。災害等による制服再購入費用の加算がある場合は、該当欄に○を記入してください。

⑦ 振込希望口座について、必ず口座名義が申請者の金融機関をご記入ください。対象生徒の口座は振込不可ですのでご注意ください。

《裏面》

㊦ 保護者等の収入状況について

- 1 生活保護を受けられておられる方は、(1)の① 生業扶助（高等学校等就学費）受給証明書の□に✓を入れてください。
- 2 住民税非課税世帯の方は、(2)の①～⑥いずれか該当する欄の□に✓を入れてください。  
なお、親権者1名の場合は、②のア、イ、ウの□にも✓漏れの無いようお願いいたします。
- 3 申請者が生徒本人（親権者、未成年後見人、主たる生計維持者がいない場合）で、対象生徒が未成年で所得割を課されるだけの収入を得ていない場合は、(3)の□に✓を入れてください。

㊦ ㊦の(2)もしくは(3)に✓を入れた方は、必ず㊦の□に✓を入れてください。

㊧ 扶養親族等の状況について

・15歳以上、23歳未満で扶養されている兄弟姉妹を記入願います。小学生、中学生、その他未就学の児童は記載不要です。

・対象生徒（本人）以外は、続柄、生年月日（年齢）、職業・学校名・学年等を漏れ無く記入してください。

・他の高校で、当該奨学給付金を申請している場合は、奨学給付金の申請欄の有に○を付けていただくとともに、申請額を記入願います。

なお、上記の方で、申請書を送付済みで手元にコピーの無い方は、余白に、『申請済みのため、申請書写し無し』と記載してください。